

1、はじめに

本校は、1年生と3・4年生、5・6年生が複式学級であり、障害児学級を含む4学級編成で教育活動を推進しております。本年度、当市の特認校制度（試行）により転入児童を受け入れました。素直で何事にも真面目に取り組み、仲間を大切にする子ども達であるので、当該児童が早く学校生活に親しめるよう授業や昼休み等での声かけをしています。互いに仲間意識が芽生え、児童が明るく楽しい学校生活を送る姿が日々見られます。

複式学級においては、児童に「確かな学力」の定着を図るために、できる限り少人数指導（同学年）による授業ができる時間を多く設定しています。以下は、本校の主な特色です。

1学年の人数が3～5であるので、一人ひとりの理解度を十分把握でき、時間の余裕をもってゆきとどいた指導をしています。

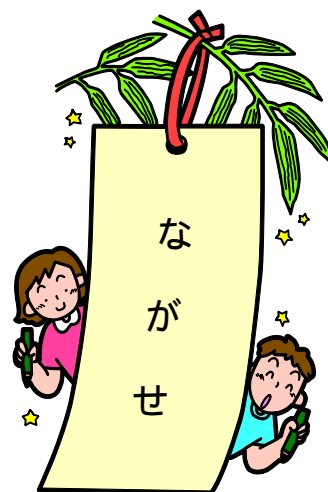
一人ひとりの理解度に応じた課題を準備し、授業に臨むよう配慮しています。児童は振り返り学習や発展学習に取り組み、分かる喜びを味わい、挑戦する意欲を高めることができ、学習の更なる発展が見られます。

複式の授業では、教師主体の授業と児童が主体的に進める授業で構成し、わからないことがあれば、教師に聞きますが、学年が進むにつれて、児童自身で話し合い、教え合う姿も見られ、互いの意見を練りあう時間となるように教材の工夫をしています。

更に、下の学年では上の学年での学習内容に興味関心をもち、次年度への予習になります。一方上の学年には、復習の機会となり、学習内容の理解が深まり満足感を得ることにより学習意欲が高まります。そのため、複式ならではの学習効果を得ることができます。

学校行事や児童会活動（班・委員会）では、自分達で創意工夫を凝らし全校児童で取り組んでいます。したがって、低学年の時から高学年が活動する様子を見て、仕事の手順や指導の仕方等を学ぶことができます。やがて、高学年になると指導性や自主性、責任感が育ちます。そのことによって大規模校には見られない児童相互の温かい人間関係が生まれます。

児童の活動が少人数で行われるので、物事に必然的にかかわらなくてはならない状況である。そのような中で互いに仲間意識が芽生え、一人ひとりの存在が大きく、一人ひとりが大切にされている。



2、本日の日程

(1) 受付 8:50 ~ 9:10

(2) 概要説明 9:10 ~ 9:30 (家庭科室にて)

(3) 授業公開 9 : 4 0 ~ 1 0 : 2 5 (各教室にて)

学 年	教科	学 習 内 容	活動と指導者として工夫している点
1 年 (1 年教室)	生活	「牛乳パックで遊ぼう」	・一人ひとりの児童が、牛乳パックで作った遊べるものを紹介し、工夫したことやがんばったことなどを自分の言葉で発表する。その後、みんなで作って楽しく遊ぶ。
3・4 年 (3・4 年教室)	算数	・ぼうグラフと表(3 年) ・折れ線グラフ(4 年) ・一人ひとりの理解に応じた課題をする。	・ぼうグラフ(3 年) と折れ線グラフ(4 年) の書く手順を、2 学年一緒に指導する() 。その後、作業の時間を持つ() 。 ・一人ひとりの理解に応じた課題を準備して意欲的に取り組めるようにする。
5 年 (5・6 年教室)	国語	・詩「あなたへ」 ・漢字の復習の時間をとる。	・一人ひとりの想像力を深めながら読み、穴埋めの問題を用意し、自分ならどのような言葉を入れるかを考える。 ・同年代の子の作品をいくつかしょうかいし、自分も表現できる喜びを知るようにする。
6 年 (少人数教室)	算数	・「ふしぎな計算」 虫食い計算 ・各自の不得意な領域の復習をする。	・スムーズに学習に入れるように簡単な問題を用意する。 ・早く問題ができた児童には一人ひとりの学力に応じた課題を用意し、ステップアップをはかれるようにする。
きぼう (6 年) (パソコン室)	社会	・インターネットで歴史を調べよう	・インターネットでクイズ、ゲーム、漫画等の中から興味のあるものを選ぶ時間を十分とり、歴史を楽しく学習できるようにする。

学習の工夫の ~ は「はじめに」の中の本校の特色の番号を表す。

(4) 児童会活動(七夕集会) 1 0 : 4 5 ~ 1 2 : 1 5 (体育館にて)

- ・児童会 七夕までの道のり
- ・1 年 劇「おむすびころりん」
- ・3・4 年 朗読劇「三年とうげ」
- ・5・6 年 修学旅行の発表

(5) 講演会 1 3 : 3 0 ~ 1 6 : 0 0 (体育館にて)

「小規模校を考える」

- 講師 榎谷 英一先生(白川小学校 校長)
 浦山 正夫氏 (元青山町立上津小学校 P T A 会長)
 廣岡 洋子氏 (元青山町立上津小学校 P T A 副会長)